

移民にとって心配なことは何か？

- 刑事司法制度と関わることに不安を感じる移民女性が少なくありません。出身国やアメリカでの経験から、法制度が男性に寛容だと思っているためです。

SFWARは、誰もが刑事司法制度によって敬意のある扱いを受けるべきであると信じています。また、性的暴行を受け、警察に届け出たい人たちを援助、擁護するカウンセラーがいます。

- 不法滞在の移民は、法的手段を取ると、自分が強制送還になるのではと不安になるかもしれません。実際、性的暴行の加害者は、強制送還だと脅して被害者を支配したり、利用することがあります。また、法的手段を取ると、加害者が強制送還になるのではと不安に思う移民女性もいます。性的暴行の被害者は、加害者が逮捕されたり強制送還になれば、友人、家族、コミュニティから追放され、子供の経済援助が終了してしまうことを恐れることもあります。

性的暴行やドメスティックバイオレンス(家庭内暴力)の被害を受けた不法移民が強制送還されないようにし、経済援助する法律があります。SFWARは、このような法律に関する詳細情報を提供し、支持団体や弁護士を適宜紹介しています。

- レイプや性的暴行に関して警察当局に届け出ないよう、家族からのプレッシャーや文化的なプレッシャーがあるかもしれません。女性は、性的暴行やレイプを公開すると、家族がばらばらになるのではと恐れたり、子供のために表沙汰にしないと決めることがあります。
- 暴力の多い家庭で育った子供は、多くの場合、家庭内暴力という心の傷による否定的な影響を受け、大人になってもその影響が長く尾を引くという調査結果が出ています⁴。つまり、子供のためというだけの理由で虐待関係を続けると、実際、非常に有害な影響を子供に与えることになりかねません。

母親は、性的暴行、レイプ、性的虐待、セクシャリティー(性的指向)について子供に積極的に話すことはなく、それを支持されることも今までありませんでした。

SFWARは、性教育がレイプ防止の強力な手段となり、結果的に少女や若い女性が性的暴行を受けにくくなると信じています。

暴行を受けることは、絶対に被害者の落ち度ではありません。性的暴行は、生命にかかわる場合もあります。暴行から逃れることは常に可能とは限らず、暴行を避けるために取った行動は、どのような方法であっても正しいのです。

誰に対しても「NO」と言ってそれを尊重してもらう権利が誰にもあります。たとえ、Noと言わなくても、性行為を望まないのであれば、それはレイプです。

SFWARは、性的暴行のすべての被害者、その家族、友人、および性的暴行の撲滅に取り組むすべてのコミュニティのために尽力しています。

SFWARパンフレットは、San Francisco Department on the Status of Womenの資金援助により作成されました。

コミュニティ情報

San Francisco Women Against Rapeは、以下の秘密サービスを無料で提供しています。24時間ホットラインによる電話カウンセリング/対面カウンセリング/サポートグループ/医療・法律・社会福祉に関する擁護および同行サービス/護身術の指導/青少年および大人のための教育プログラム/レイプ撲滅を目的とするグループの支援/スペイン語および多くのアジア言語での多言語サービス。英語以外の言語によるサービスを希望する場合は、24時間ホットラインに電話し、何語でサービスを受けたいかをカウンセラーに伝えてください。カウンセラーが連絡先を聞いた後、その言語を話す担当者が早急に折り返し電話します。24時間ホットライン 415-647-RAPE コレクトコールも受け付けます。415 861 2024 (オフィス) www.sfwar.org • info@sfwar.org

San Francisco Trauma & Recovery/Rape Treatment Center 医療手当およびカウンセリング。警察への届け出と証拠収集(任意)。18歳以上の男女対象。スペイン語およびアジア言語に対応。415-437-3700 ホットライン) 415-821-3222 (オフィス)

Child and Adolescent Support Advocacy and Resource Center (CASARC) 医療手当、カウンセリング、警察への届け出。電話の秘密受付。対象年齢17歳以下。スペイン語およびアジア言語に対応。415-206-8386 (24時間ホットライン)

Asian Pacific Islander Legal Outreach (APILO) 法的援助および弁護士の紹介。日本語でのサービス提供。415-567-6255 (オフィス)

Asian Women's Shelter 虐待を受けたアジア人女性とその子供のためのサービスを提供。24時間ホットライン、カウンセリング、サポートグループ、法的援助、シェルター(収容施設)。アジア言語の大半に対応。415-751-0880 (24時間ホットライン)

Asian and Pacific Islander Wellness Center HIVおよびAIDSの検査、治療の秘密サービスを日本語、英語、他のアジア言語で無料提供。415 292 3400 (オフィス)

Women Organized to Make Abuse Nonexistent (W.O.M.A.N., Inc.) ドメスティックバイオレンスのための24時間ホットライン、対面カウンセリング、サポートグループ、接近禁止命令に関する援助、スペイン語およびアジア言語に対応。415-864-4722 (24時間ホットライン)

教育 サポート エンパワーメント 変革

サンフランシスコ ウーマン アゲンスト レイプ

415-647-RAPE (7273)

(24時間ホットライン、コレクトコール受付)



サンフランシスコ
ウーマン アゲンスト
レイプ

415-647-RAPE (7273)
415-861-2024 (オフィス)
www.sfwar.org
(ホームページ)
info@sfwar.org (Eメール)
3543 18th Street #7
San Francisco, CA 94110

性的暴行を受けたら、自分に落ち度はないこと、サポートを受ける権利があること、また同じような被害者が他にも大勢いることを思い出してください。

レイプとは？

レイプとは、被害者の意志に反して強制される性行為で、さまざまな状況で起こります。たとえば「NO」と言っているのに無視されたり、力づくで強制されたり、脅かされたり、強要されたり、または酔って性交渉に合意できない場合です。殴られた場合だけがレイプではありません。被害者が加害者を知っているか否かにかかわらず、被害者の合意がない性行為はレイプです。レイプは、どんな状況であれ犯罪です。

顔見知りレイプとは？

顔見知りレイプとは、知っている人に強制される性行為で、長い間付き合っている人、初めてのデートの相手、配偶者、同僚、雇用主、友人などが加害者です。加害者を知っているから、または以前性交渉をした相手であるからレイプではないと思われがちですが、合意に基づいていないセックスはレイプです。

性的暴行とは？

性的暴行は広い意味で使われ、強要される性行為はすべて性的暴行です。性的暴行には、挿入が含まれない場合もあります。

レイプや性的暴行を受けるのは誰か？

レイプは、新生児から高齢女性までのあらゆる年齢層、経済的に裕福な人から困窮した人までのあらゆる社会階級、また、あらゆる人種や民族で起こります。

レイプするのは誰か？

誰もがレイプの加害者になり得ます。隣人、上司、医師、コーチ、教師、友人、家族、恋人、配偶者など、被害者の知っている人が加害者になる場合が**75%** を占めています¹。過去に合意の上で性関係を持った人によってレイプされることもあります。以前は「Yes」と言った場合でも、性行為を求められるたびに「No」という権利があります。加害者は、見かけや素振りが普通の人と変わらない場合が大半です。また、レイプのほとんどは、同じ人種間で起こっています²。レイプはセックスや欲望のことだと思われがちですが、実は、社会

的に弱い立場にある人を支配または制圧することがレイプです³。加害者の目的は被害者を支配することであり、支配に使う武器がセックスなのです。

レイプの責任は誰にあるか？

性的暴行は、一切被害者の落ち度ではありません。被害者の衣服、行った場所、行動、また被害者が「魅力的」であるかどうかとは、まったく関係ありません。責任は性的暴行を犯す人のみにあります。加害者は、故意に他人の権利を侵害したのです。

自分を守るためにできることは何か？

自分の直感を信じてください。たとえ相手が知っている人でも、不安を感じたら、その感情に従って行動しても構いません。危険、不安だと感じる状況から脱出するにはこれが最適だと自分思う方法を信じてください。危険だと感じたときは、失礼だとか恥ずかしいと思われることをしても構いません。

・**路上または公共の場では**：足早に歩き、行き先がはっきりしているという素振りをしてください。誰かが後をつけているときは、できれば道を横切ったり、早く歩くか、店など人のいるところに入ってください。叫ぶ、笛を吹くなどの行為も人目を引きま

・**家では**：必ずドアと窓に鍵をかけ、たとえ隣人や知人でも、信用できない場合は誰も家に入れないでください。家の中の修理などに来た人は予約のある場合だけ受け付け、写真付きIDを提示してもらいましょう。

・**デートでは**：デートの相手に車で、または歩いて送ってもらわなくても一人で安全に帰れるように、前もって準備しておきます。相手をよく知らない場合は特に、人が大勢集まる場所で会ってもいいでしょう。ドラッグやアルコールを使用すると判断力が鈍り、暴行を受けやすくなります。また起こったことに対して自分を責めたりします。デートの相手と酒を飲んだりドラッグを使用する前に、このことを心に留めておいてください。

誰かに襲われたときは、どうしたらいいか？

方法はたくさんあります。以下はその例です。

- ・危ないと感じたら逃げる。
- ・鍵やペンなどを武器にして抵抗する。
- ・相手に止めるよう説得する。
- ・相手が驚いたり、気分を悪くしたりするような異常行動をとる(放尿する、吐く、奇妙な行動をする、性病を持っていると言うなど)。
- ・力強く「No!」と叫ぶ。
- ・相手の急所(目、のど、股間、ひざ)を蹴る、または叩く。
- ・危機を脱するには、攻撃者が望むとおりにするのが最適であると判断する。

レイプされたらどうしたらいいか？

方法はたくさんあります。以下はその例です。

ホットラインに電話する。**San Francisco Women Against Rape (SFWAR)** に電話してください。24時間ホットラインは**415-647-7273**です。秘密は守られます。**SFWAR**には、日本語を話すカウンセラーもいます。

医師または医療機関の治療を受ける。

カウンセラーまたはセラピストに話す。

自分を支持してくれると思う人に話す。

加害者に正面から立ち向かう。

警察に報告する。

サンフランシスコ市内では、**San Francisco General Hospital's Emergency Department** (サンフランシスコ総合病院救急診療部) に行くと、**Sexual Assault Response Team (S.A.R.T.)** を利用できます。**S.A.R.T.** は治療、妊娠や性感染症の検査と処方、カウンセリング、警察への届け出の手伝いなどを無料で提供しています。身体上の証拠は、性的暴行後**72時間**以内であれば収集できます。暴行について警察に届け出るときは、シャワーやビデなどはせず、衣類も洗濯しないでください。ただし、証拠収集を希望しない場合、また性的暴行を警察に届け出たくない場合も、治療は無料で受けられます。この場合は、看護師に治療だけを受けたいと伝えてください。

自分を大切にし、自分がしたいと思うことをし、自分に権利があることをわきまえることが最も重要です。

被害者には、以下の権利があります。

尊重、敬意、礼儀のある待遇を受ける。加害者と被害者の関係が何であれ、警察に届け出てサービスを受ける。人種・民族、年齢、社会階級、性別、性的指向、障害、移民ステータス、または職業を理由に差別を受けない。医療、警察の手続き、訴訟手続きの際、性的暴行の知識を持つカウンセラーに同行してもらう。カウンセラーや警官に会うときのプライバシー。署名を要求された書類すべてを理解する。検査、検診、薬、治療、および警察調書すべてについて質問し、その答えを得る。追加治療や検査が必要であればその説明を受ける。不服を述べ、それが聴取、理解される。

虐待が継続している場合は：加害者が何と言おうと、虐待は被害者の責任ではありません。被害者が虐待されるいわれはないのです。

- 1) 信用できる誰かに話すことを考えてください。
- 2) ホットラインに電話することを考えてください。

レイプは傷跡を残します。混乱、怒り、罪悪感、落ち込み、恥など、さまざまな感情が湧いてくるかもしれません。その感情は普通であり、長く続くこともあるでしょう。誰かに話したり、ホットラインに電話したり、サポートを求めることが役に立ちます。